

稼げる！プロコン育成塾

第3回講義レポート

稼げる！プロコン育成塾 14期 第3回講義が下記の通り行われましたので、ご報告いたします。

■実施要領

開催日時	1日目:2014年8月30日(土)13:00~17:45 2日目:2014年8月31日(日)9:00~11:55	
開催場所	生命の森リゾート フォレストアカデミー研修室 (千葉県長生郡長柄町)	
開催内容	『書く』スキルを習得する①-1 ・レジュメの作り方・小論文の書き方	講師: 鴨志田 栄子 塾長
	『書く』スキルを習得する①-2 ・小論文を書くコツ~執筆者の傾向分析~	講師: 大草 昭人 先生
	『書く』スキルを習得する①-3 ・まとめ	講師: 鴨志田 栄子 塾長
	『診る』スキルを習得する① ・企業診断のポイント	講師: 田村 隆一郎 先生

■講義の流れ

1日目	
13:00~	小論文課題(提出締切:10/25)についての説明
13:10~	テキスト「レジュメの作り方・小論文の書き方」の説明・ワーク・グループディスカッション・発表(鴨志田塾長)
15:30~	休憩
15:40~	テキスト「小論文を書くコツ~執筆者の傾向分析より~」の説明・ワーク・グループディスカッション・発表(大草先生)
18:00~	夕食・懇親会
2日目	
9:00~	「書く」スキルについてのまとめ・ワーク・グループディスカッション・発表(鴨志田塾長)
10:10~	休憩
10:15~	テキスト「企業診断実務について」の説明・グループに分かれての事前準備(田村先生)
11:55	講義終了

■講義風景

写真1 講義会場のフォレストアカデミー



写真3 大草先生、当塾での講師デビューです



写真5 受講生は真剣にワークに取り組みます



写真2 鴨志田塾長による講義のスタートです



写真4 田村先生による講義に熱がこもります



写真6 活発なディスカッションが行われました



■第3回講義レポート

当塾公式カリキュラムとしては初の合宿形式(1泊2日)による第3回講義は、東京駅から約75分の千葉県長生郡にある「生命の森リゾート」において行われました。「生命の森リゾート」は、森林に囲まれた東京ドーム70個分の広大な敷地の中に、ホテル、コテージなどの宿泊施設やゴルフ場、トレーニングセンター、研修施設などあらゆるファシリティが集積した一大複合リゾートです。その中の「フォレストアカデミー」という

研修施設の一室を借り、いつもの中央支部事務所よりも広々とした空間の中で、ゆったりとしたと雰囲気の中で講義は行われました。

今回の講義テーマは2つ。「書く」というスキルの基本を身に付けること。そして「診る」スキルを磨き上げる準備です。1日目最初は、塾長から「書く」スキルについての講義です。塾生には開講早々、課題が与えられます。10/25までにビジネスをテーマとした小論文を提出することになりました。目標が定まったところで、プロコンとして身に付けておくべき基本を、テキスト「レジュメの作り方・小論文の書き方」に沿って説明を受けます。

まずはレジュメの作り方です。小論文、プレゼンテーション、記事の執筆、セミナー講義、これらを作る上で共通する作業は最初にしっかりとレジュメを準備することです。「レジュメ7割」という言葉を聞き、レジュメ作成の重要性を理解されたと思います。

基本的ルールを理解した後は、卒塾生が書いたレジュメの事例をみて、評価や感想をグループ内でディスカッションし、発表しました。事例の中には私自身が書いたものもあり、赤面しながら塾生の発表を聞いていました。反面教師となって、塾生のスキルアップに役立ってくれば幸いです。

続いて、ビジネス小論文作成の基本についての解説です。ここでも、レジュメのサンプルを見ながらケーススタディを行いました。「企業診断」誌掲載記事用のインタビュー形式の記事を書く際に準備されたレジュメのケースです。より実践に近い内容でしたので、塾生も真剣に議論に参加しスキルアップに役立てようとしていました。最後に塾長から、ここまでの内容は基本的なことが多いが、意外と時間を置くと忘れがちなので、講義の後も逐次テキストを振り返って、スキルの定着を図るように指導がありました。

塾長の講義に引き続き、大草先生から「小論文を書くコツ～執筆者の傾向分析より～」と題して講義が行われました。冒頭大草先生から、文章を書く時の原理原則は、読み手の立場に立って書くことであると教えられました。続いて、ケーススタディが行われました。10分間で他人が書いた文章の改善案を作成するワークです。各自が改善案を作った後、グループでディスカッションし、改善案をまとめます。そして発表（どこが悪いかの指摘と改善提案）を行います。15の例文に対して改善案を作るのですが、他人が書いた文章、特に読みにくい文章を読んで赤入れすることの大変さを塾生は身をもって体験したと思います。これから塾生の書く文章はきっとわかりやすいものになるのではないのでしょうか。今後の塾生の書く小論文がとて楽しみます。

初日はここまで。続いて、レストランでバイキング形式の夕食を取った後、コテージに移動して白熱の懇親会になるのですが、それはこの後のお楽しみということで、続けて2日目の講義をレポートします。

2日目は書くスキルのまとめということで、塾長から講義が行われ、2つのワークに取り組みました。ワークの1つ目は「動機づけ」に関することをテーマに、原稿用紙（200文字）に書く作業です。書き上げた後、グループ内（3～4人）でメンバーの原稿を読み、評価し合います。そして、最も良い1つを推薦し、代表者が発表しました。次にワークの2つ目。5つの論法（演繹法、帰納法、三段論法など）、を使って「〇〇士について」の文章を作るワークです。メンバー全員が1つの論法に従った文章作って発表しました。普段、論法を意識しないで文章を書いていることがほとんどだと思いますが、ワークを通じて意識して書くことで文章に説得力や締りがでてくることを学び取っていただいたと思います。

2日目の最後は、田村先生による「診る」スキルの講義です。テキスト「企業診断の進め方」に従い、企業診断の進め方についての基本的な説明が行われました。続いて、これから実際に診断する企業につい

ての基本情報と診断実務の進め方について説明がありました。塾生は3つのグループに分かれて、対象企業の経営を診断します。詳細な企業の経営に関するデータは別途配布されますので、その情報にしたがって、各グループは準備を開始。次回第4回講義までに、現状分析とヒアリング項目の抽出を行い、経営者に向けてのヒアリングに臨みます。最後は各グループに分かれて、今後の具体的な進め方について討議が行われました。

■合宿ならではの懇親会レポート！

今回は合宿です。合宿ならではの白熱した懇親会の模様もレポートしたいと思います。

夕食の後、塾生と運営スタッフは宿泊するコテージに移動。16人が収容できる最も大きなコテージに参加者全員が集結し、まずは乾杯。事務局が吟味して集めた銘酒の数々と、塾生が持ち寄った全国津々浦々の山海珍味を肴に、徐々に盛り上がってまいります。

場が十分温まってきたところで、本日のメインイベント、塾長によるTTWがスタートです。TTWとは、Think Tank Windowの略で問題解決のアイデアを連続的に引き出し、その中からベストなものを選び出すという、問題解決手法の一つです。今回は「こんなコンサルタントになりたくない」というテーマで、アンチプロブレマティックにどんなプロコンを目指したいかを考えるワークに取り組みました。結果は、写真11のとおり。きっと、こんなコンサル外にはなるまい！と、心に誓った方が多くいらっしゃることでしょう。それとともに、このような問題解決手法があるのか、と思われた方も多くいらっしゃると思います。育成塾の懇親会は、ただ飲んで騒ぐだけではありません。ここでもしっかり学んでいただいて、ノウハウやナレッジを持ち帰っていただきます。

写真7 乾杯！



写真8 歓談中



写真9 TTWの始まりです



写真10 ワークシートを吟味中



写真11 各グループから出た答えは・・・

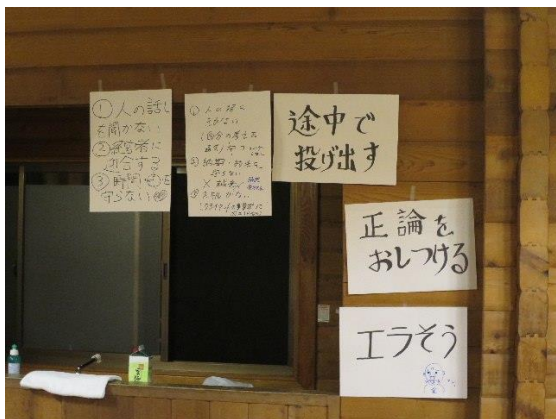


写真12 皆で集合写真、お疲れ様でした！



宴もたけなわ、日付も変わってしまったところで、中締めとなりました。ここで、事務局・三好先生が登場し、渾身の三三七拍子でしっかりと締めていただきました。きっと思い出深い合宿になったと思います。参加された皆さん、本当にお疲れ様でした！

(事務局:佐野 元保)